

「高齢者が家で暮らすという事」

富山ろうさい病院 地域医療連携室室長補佐

まぶち のりこ
馬瀨 典子

最寄りのバス停からゆるく長く続く坂道を20分、それから家の玄関まで、舗装されていない坂道を3分程歩くと、93才で一人暮らしをしている叔母の家に着きます。眼も耳も達者で、私より良いくらい。毎年年賀状を出すと2月に封書で返信をくれていましたが、今年は届きませんでした。4月にあった時に「すまなんだな。返事をよう書けなんだ」と詫びていました。ゴールデンウィークに母とわらび取りに叔母の家に行きました。私たちが草むらでわらび取りに夢中になっていたら、叔母が林檎をむいて持ってきてくれました。新聞紙を敷いた草むらで母と長く話をしていました。「どうも頭がおかしくなった気がするから、月曜日病院で診てもらおう」と言っていたようです。確かに、先ほど母が手渡した土産を新聞紙にくるんで、杖をつきながら、母に持ってこようとするあたり、以前の叔母とは少し違う、なんらかの症状が出ているのかもしれない。93



才過疎地で一人暮らし。やや認知症状有り。病院の看護師である私は、こういう状況の患者さんのご家族に「一人暮らしは無理です。ご家族と一緒に住んでください」などと言ってきました。でも、いざ身近な立場で考えると、息子や娘のワンタッチダイヤルを登録した携帯電話を持ち、自分で自分の変化を認めている叔母には、一人で動けなくなるまでは、住み慣れた家で、今まで通り気ままに一人暮らしをして欲しいと思います。「在宅生活を支える」地域包括ケアシステムを活用しながら、その人がその人らしく暮らせる生活を支援するためには、家族や親族、近所の人たち、叔母の周りの人たちが、注意深く見守りながら、叔母らしく人生を全うできるよう支援していかななくてはと思いました。

耳鼻咽喉科紹介

金沢大学耳鼻咽喉科の石川と申します。毎週木曜日の外来を担当しております。頭頸部腫瘍を中心に耳鼻科領域を広く担当しています。学生時代はクロスカントリーに没頭し、一步ずつ前に進んでいく難しさを学びました。



平日は診察に、休日は子育てに奮闘しておりますが、クロスカントリーの教訓を生かして成長できればと思っています。日々丁寧な診察をこころがけています。

耳、鼻、のどでお困りの方はおられませんか？気軽に御相談ください。

出前講座について

【事業所様へご案内】 以下のような内容で講師の派遣を行っています。ご相談ください。

- ・病気に関すること
 - ・治療と就労両立支援に関すること
 - ・健診や検診に関すること
 - ・その他（看護部が行えること）
 - ・感染管理に関すること
 - ・皮膚・排泄ケア
 - ・糖尿病に関すること
 - ・がん看護に関すること
 - ・その他
- <連絡先：地域医療連携室にご連絡ください>

魚津市急患センター

富山ろうさい病院、魚津市医師会、魚津市が協力して夜間等の急病に受診できる急患センターを開設しています。

●診療時間 夜間（毎日）午後7時～10時 ●場所 富山ろうさい病院 0765-22-1280（代表）

* 時間外通用口から入ると、すぐ左側に受付があります。

* 乳幼児・小学生の急病は新川医療圏小児急患センター（黒部市民病院 0765-54-2211）で受診してください。